

市長×地域おこし協力隊

～^この^まち^ちの^ため^に私^たち^がで^きる^こと～



地域おこし協力隊は、都市部から地方に移り住み、地域に寄り添いながら活動する人たちを市町村が委嘱する国の制度です。
 渋川市では、令和8年4月現在、インバウンド観光振興、創作こけし、まちづくりプロモーターという3つの分野で、6人(うち1人は令和8年4月1日委嘱・24ページ参照)の隊員が市の活性化のために活動しています。
 市長と地域おこし協力隊員が、渋川市のこれからのまちづくりについて、令和7年12月に懇談を行った様子をお届けします。
 詳しくは、[総務課\(TEL258419\)](mailto:総務課@city.shibuya.lg.jp)へ。



広井 沙希 隊員

広井 私は新潟県出身で、まちづくりプロモーターとして、イベントの企画・運営に携わっています。子ども向けペイント体験やアニバーサリーフェスタでは、市民や学生らと連携し、多くのご来場をいただきました。今後もネットワークを広げ地域活性化に取り組みたいです。また、渋川は交通の利便性や自然環境のバランスがよく、着任と同時に家族で移住しました。全てが「ちょうどいい場所」だと感じているので、子育て世代にもそれを発信していきたいです。

市長 作品も素晴らしいですね。今後の活躍を期待しています。
市員 同じく創作こけし分野で活動しています。大学では仏像彫刻を学び、木工への関心からこの分野に興味を持ちました。伝統と新しい発想が融合する点に魅力を感じ、協力隊に応募しました。着任後は工房で技術を磨き、作品制作に取り組んでいます。

地域おこし協力隊員だから渋川市のためにできること
藤田 私が着任してから感じた課題として、インバウンド施策の目的や目指す方向性が十分に共有されていないです。

市長 行動力のある取り組みが素晴らしいですね。今後も期待しています。
藤田 私は栃木県出身で、インバウンド観光振興を担当しています。観光案内看板の清掃や高校生との協働、河鹿橋周辺の環境整備、いっぽく館の再生などに取り組みできました。また、市の国際交流の場面で、コミュニケーションのお手伝いなどの機会をいただいています。



藤田 雅美 隊員

市長 「ちょうどいい」という表現は非常に魅力的だと思うので、私もいろいろなところで発信していきたいと思っています。

海外の人には自分の作品を販売していきたいです。今こけしは海外の人に人気があるので、イン

市長 重要な視点ですね。今後の施策検討に生かしていきます。
平野 創作こけしは、担い手不足や技術継承の難しさが課題です。学ぶ場や将来像を示す仕組みづくり、子どもたちへの体験機会の提供などを進めていきたいです。
市長 こけしは非常に魅力的で価値のある伝統工芸だと思うので、うまく発信できる方法を皆さんのアイデアをお借りしながら一緒に考えていきましょう。

市長 台湾出身で、インバウンド観光振興分野で活動しています。伊香保や市内の観光情報の発信をはじめ、観光案内、旅行会社でのインターンなどに取り組んでいます。活動の中で印象的だったのは、海外から来た頭文字Dファンの人を案内した際、「夢がかなった」と言っていたことです。渋川の魅力の大きさを実感しました。また、今後は台湾との国際交流の架け橋となる役割も担いたいと考えています。



胡 玄燁 隊員

市長 皆さん、こんにちは。これまで地域おこし協力隊員の皆さんと直接お話しする機会が少なかつたので、今回の懇談を楽しみにしていました。日頃、隊員の皆さんが地域と密接に関わりながら、渋川市のために活動されていることに心から感謝しています。渋川市をさらに良くしていくため、率直なご意見を伺いたいと思います。よろしくお願ひします。

市長 非常に良い視点ですね。台湾との交流は重要なテーマですので、ぜひ、今後も力を貸していただきたいと思います。



星名市長

市長 ご指摘いただいた内容は、農業施策の中で検討すべき重要なテーマだと思います。
 本日、皆さんの話を聞き、それぞれが強い思いと専門性を持って活動されていることを実感しました。意見を言葉にして共有することで共感が生まれ、取り組みがさらに前進すると思います。これからも、皆さんと一緒にまちづくりを進めていきたいと思っています。今後の活躍を期待しています。

市長 分野を越えて、みんなで連携していくことが重要ですね。
広井 私の夫が農業をやっているのですが、毎日出てしまう規格外野菜の活用が課題だと感じています。詰め放題などのイベントは単発でできても、継続的な仕組みが必要ですね。福祉施設や子ども食堂との連携、収穫体験を絡めた食育の事業なども考えていけたらと思っています。

市長 非常に良い視点ですね。台湾との交流は重要なテーマですので、ぜひ、今後も力を貸していただきたいと思います。



平野 凧紗 隊員

市長 ぜひ、渋川の創作こけしの担い手として成長していただきたいと思っています。
小川 埼玉県出身で、創作こけし分野で活動しています。現在は市内外の工房で、木地づくりや絵付けなど一連の工程を学んでいます。将来的には後継者として業界に携わり、最終的には独立を目指したいと考えています。



小川 廣大 隊員

市長 非常に良い視点ですね。台湾との交流は重要なテーマですので、ぜひ、今後も力を貸していただきたいと思います。